

各 位

2018年4月26日
SBIホールディングス株式会社
photonamic GmbH & Co. KG

フォトナミック社によるNX Development Corp.の買収のお知らせ

当社（本社：東京都港区、代表取締役執行役員社長：北尾 吉孝）の完全子会社で、5-アミノレブリン酸（ALA）（※）を利用した医薬品開発事業を手掛けるphotonamic GmbH & Co. KG（本社：Wedel, Germany、代表：Ulrich Kosciessa, Ph.D. 以下「フォトナミック社」）は、同社の米国提携先で、2017年6月に米国食品医薬品局（FDA）より”Gliolan”（以下、「本剤」）の承認を取得したNX Development Corp.（本社：米国ケンタッキー州レキシントン市、会長兼CEO：Alan Ezrin, Ph.D. 以下、「NXDC社」）の買収契約を締結しましたのでお知らせいたします。

本剤は、悪性神経膠腫の摘出術中における腫瘍組織の可視化を目的とした光線力学的診断（Photodynamic Diagnosis：PDD）のための経口体内診断薬で、本剤を脳腫瘍手術の2～4時間前に経口で摂取させ、手術中に患部に青色励起光を当てると腫瘍部位が赤色蛍光を発生し、脳神経外科医が正常組織から腫瘍組織を識別することを助けます。本剤は製品名「Gliolan」として2007年に欧州医薬品庁（EMA）の承認を受け、現在フォトナミック社の販売パートナーを通じてドイツ、イギリス、オーストラリアおよび韓国を含む40以上の国々で販売されています。

NXDC社は、フォトナミック社よりライセンスを受けた本剤を米国において商業化するために設立された会社で、本剤を米国において今年度上半期中に発売し、当社グループのALA関連事業の北米市場への展開に大きく貢献することが期待されています。

SBIグループではアンメットメディカルニーズに応えるALAを利用した医薬品を世界中の一人でも多くの方に提供できるよう、今後もALAの様々な可能性を追求し、医薬品等の研究開発に努めてまいります。

（※）5-アミノレブリン酸（ALA）とは：体内のミトコンドリアで作られるアミノ酸。ヘムやシトクロムと呼ばれるエネルギー生産に関与する機能分子の原料となる重要な物質ですが、加齢に伴い生産性が低下することが知られています。ALAは、焼酎粕や赤ワイン、高麗人参等の食品にも含まれるほか、植物の葉緑体原料としても知られています。

以上

本プレスリリースに関するお問い合わせ先：

SBIホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126